

授業科目等の概要

(商業実践専門課程) 医薬サポート科 健康アドバイザーコース 平成31年度

分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次学期	授業コマ数	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業との連携	
										講義	演習	実験実習実技	校内	校外	専任	兼任		実務経験
○				コミュニケーション基礎	自己を見つめ、自己の持ち味・価値観を築く	1前	15	27	1	○	△	○	○	○	○	○		
○				コミュニケーション応用	他者を容認し、必要な自分になるための行動力を培う	1後	15	27	1	○	△	○	○	○	○	○		
○				※ライブプランニング論	就職直前の知識と心構えを学ぶ	2後	15	27	2	○		○	○	○	○	○		
○				EQコミュニケーション	EQに気付き、関心を持ち、前向きな生活を送る姿勢を考える	2前	15	27	2	○		○	○	○	○	○		
○				ケア・コミュニケーション	ケアが必要な方へのコミュニケーション力の養成	2後	15	27	1	○	△	○	○	○	○	○		
○				ポジティブ理論	逆境をバネにする柔軟性などを学ぶ	2後	15	27	1	○	△	○	○	○	○	○		
○				ビジネス実務A	社会・企業から求められるビジネス能力の養成	1前	15	27	1	○	△	○	○	○	○	○		
○				ビジネス実務B	同上	1後	15	27	1	○	△	○	○	○	○	○		
○				基本マナーⅠ	サービスのために必要なマナーの習得	1前	15	27	1	○	△	○	○	○	○	○		
○				基本マナーⅡ	煎茶・華から情操・想像力の養成	1後	15	27	1	○	△	○	○	○	○	○		
○				栄養学	正しい食生活を実践する知識と能力の養成	2後	30	54	3	○	△	△	○	△	○	○	○	
○				パソコン基礎A	Word基礎を学ぶ	1前	15	27	1	○	△	○			○	○		
○				パソコン基礎B	Excel基礎を学ぶ	1前	15	27	1	○	△	○			○	○		
○				PP	プレゼンテーションの資料作りと発表能力の養成	2後	15	27	1	○	△	○			○	○		
○				POPⅠ	POP手書きの基礎を学ぶ	1後	15	27	1	○	△	○			○	○		
○				POPⅡ	個性あるPOP手書きにの書き方の習得	2前	15	27	1	○	△	○			○	○		
○				デジタルPOP	デジタルPOPの作成方法等を学ぶ	1前	15	27	1	○	△	○			○	○		
○				基礎ペン字	ボールペンの基本的書法習得	2前	15	27	1	○	△	○			○	○		
○				応用ペン字	応用書法・マナー習得	2後	15	27	1	○	△	○			○	○		
○				スポーツ健康学	健康な身体づくりと仲間との協調	1前	30	54	1			○	○	○	○	○		
○				アロマセラピー	身体・心の77のための知識の習得	2前	15	27	1	○	△	○			○	○	○	
○				ボディセラピー	フットリフレクソロジーの施術方法の習得	2前	30	54	1			○	○		○	○	○	
○				基礎学習講座	基礎的な人文・社会・自然科学分野の学習を行う	1後 2前	30	54	2	○		○		○				
○				就職支援講座	就職活動への心構えを構築し、準備を行う	1通	30	54	2	○		○		○				
		○		※ 総合学習講座	各科目の講義、演習を総合的・横断的に学習する	2後		~ 21 ~ 28		○	△	△	○	△	○	○		
○				医療保障Ⅰ	医療保険制度を中心に医療費のしくみを学ぶ	1前	15	27	1	○	△	○		○	○	○		
○				医療概論	医療とは何かを学ぶ	1前	15	27	1	○	△	○		○	○	○		
○				基礎医学Ⅰ	解剖学・生理学の基本を学ぶ	1前	30	54	2	○	△	○		○	○	○		
○				調剤事務Ⅰ	調剤事務知識の習得	1前	15	27	1	○	△	○		○	○	○		
○				調剤事務Ⅱ	同上	1後	15	27	1	○	△	○		○	○	○		
○				医薬品Ⅰ	医薬品の基礎的・専門的知識の理解	1前	30	54	2	○	△	○		○	○	○		
○				医薬品Ⅱ	医薬品の有効成分の理解と応対力の習得	1後	30	54	2	○	△	○		○	○	○		
○				登録販売者総論Ⅰ	医薬品販売知識を深める	2前	45	81	4	○	△	○		○	○	○		
○				登録販売者総論Ⅱ	医薬品のまとめと実習体験をまとめる	2後	15	27	2	○	△	○		○	○	○		
○				化粧品アドバイザーⅠ	化粧品に基礎的・専門的知識の理解	2前	15	27	1	○	△	○		○	○	○		
○				化粧品アドバイザーⅡ	化粧品の有効成分の理解と応対力の習得	2後	15	27	1	○	△	○		○	○	○		
○				販売理論Ⅰ	販売士3級取得	1前	30	54	2	○		○			○	○		
○				販売理論Ⅱ	同上	1後	30	54	2	○	△	○			○	○		
○				販売計数基礎	基礎的計数の理解と能力向上	1前	15	27	1	○	△	○			○	○		
○				ラッピング	ラッピング技術の習得としきたりを学ぶ	1前	15	27	1	○	△	○			○	○		
○				手話	医療機関における手話の役割と知識を学ぶ	2後	15	27	1	○	△	○			○	○		
○				サービス介助基礎	ホスピタリティの心と実践を学ぶ	2前	15	27	1	○	△	○			○	○	○	
○				デュアル薬剤販売実習Ⅰ	登録販売者受験に向けた実習	1後	130	##	4			○		○			○	
○				デュアル薬剤販売実習Ⅱ	同上	2前	120	##	4			○		○			○	
		○		※ デュアル薬剤販売実習Ⅲ	ドラッグストアでの実務経験を積む	2後		0 ~ 21 ~ 36				○		○			○	
		○		※ デュアル薬剤販売実習Ⅳ	ドラッグストアでの実務経験を積む	2後		0 ~ 21 ~ 36				○		○			○	
		○		※ 企業実習Ⅰ	内定前提での実務実習	2後		0 ~ 21 ~ 36				○		○				
		○		※ 企業実習Ⅱ	内定前提での実務実習	2後		0 ~ 21 ~ 36				○		○				
		○		※ 企業実習Ⅲ	内定前提での実務実習	2後		0 ~ 21 ~ 36				○		○				
○				卒業研究	深めたいテーマ選定から論文作成、発表	2後	120	##	4			○		○				
合計					50 科目	2097~3762単位時間 (68~91単位)												

※であるので、1単位時間(50分)換算

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	前・後期
	1学期の授業期間	15週

科名	医薬サポート	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	コミュニケーション基礎		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	月1	301
担当者	松井秀夫・小林千恵		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)				
1. 第1～6回までの概要/目的 コミュニケーションとは、「話す・聞く・伝えあう」などをいいます。それらは、学生として、また社会人としての能力の基盤でもあります。コミュニケーション能力の基礎を理解し、その基礎を培う「SEQ」(Student Emotional Intelligence Quotient: 学生版『心の知能指数』)の理論により、コミュニケーション能力を高めるための手法を学びます。7回目からは、これまでの自分の言動をふりかえりながら、行動実践学テキストに沿って、自分のコミュニケーション能力や行動意欲を高めるトレーニングに取り組みます。企業や社会生活で、より良い人間関係を築いていけるように、自分らしい人とのかかわり方や適切な自己表現ができる力を身につけましょう。	No.	日付	授業内容		
2. 目標検定・資格	なし	受験対象	1	4/8	オリエンテーション(授業の目的)と自己紹介
実施日			2	4/15	「SEQ」受検
3. 学習上の留意点	講義とグループワークを交えて授業を進めます。ワークは全員が参加で行いますので、「話す」「質問する」「チームで協力する」「チームに貢献する」態度を目標にしてください。また、授業中はもちろん、学校内やプライベートでも、「EQ」を開発する意欲を持ちましょう。		3	4/22	コミュニケーションとEQの関わりについて
4. テキスト	①1回～6回までは、毎回授業のポイントのレジュメを配布。SEQ受検後は「ハンドブック&ワークシート」を使用 ②7回以降、夢実現のための「実践行動学」を使用		4	5/13	「SEQ」の「診断結果」・「HAND BOOK」・「WORK SHEET」の使い方。
5. 成績評価の方法・基準	必要出席率80%以上必須、評価は期末課題レポートと授業態度(30%以内)で総合的に評価する。  A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定		5	5/20	「EQI」による自己理解～自己の「強み」「課題」について理解する～
			6	5/27	1年生で開発したい「EQ素養」と「なりたい自分」像をつくる。(「EQ開発」のマイカレンダー作成)
			7	6/3	話しかけてみよう「座席表作りで友達を知る」
			8	6/10	聴く力、話す力、みんなで協力する力を高めよう!「インタビューゲーム」他己紹介
			9	6/17	上手に聴いてあげるための「傾聴」トレーニング
			10	6/24	夢と目標 「リソースマップ(自分地図)」で自己理解
			11	7/1	誤った思い込み 「サーカスの像やライオンは、なぜ逃げない?」
			12	7/8	行動のよりどころ 「わたしのやる気」はどこからくる?
			13	7/22	言い訳の3D 「わたしの思考パターン」
			14	7/29	5つのステップで「なりたい自分」を目標設定
			15	8/2	期末課題& 「コンプリメント・シャワー」でフィードバック
			評価試験		

科名	おもてなしビジネス 科 医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	2D		
講義名	EQコミュニケーション		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	水1	305	
担当者	松井秀夫・小林千恵		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講義	1	合同授業

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)			
<p>1、概要 コミュニケーションとは、「話す・聞く・伝えあう」などをいう。それらは、学生としてそして社会人としての「働く能力」の基盤である。「EQコミュニケーション」は、1年次の「コミュニケーション基礎」の上にたつて、EQ理論をさらに活用してコミュニケーション能力開発の理論、スキルを学ぶ。2、目的 卒業を1年後に控える2年次では、就職活動の準備や社会人としての準備を確実に行っていかなければならない。コミュニケーション能力の習得はそのために重要な獲得能力の一つである。理論的な理解はもちろん、集団でのグループ討議なども通じての体験学習を行う一方、個々の[EQ]特性に合わせたコミュニケーション能力開発を進めていく。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>★講義とグループワークを交えて授業を進める。講義では、「コミュニケーション」の構造の理解、向上のための手法を学ぶ。★グループワークでは、「コミュニケーション」の実践を学ぶ。★授業中はもちろん、学校内やプライベートでも、EQを発揮し、開発のためのトレーニングを実践すること。</p> <p>4. テキスト</p> <p>★毎回授業のポイントのレジュメを配布。SEQ受検後は「ハンドブック」「ワークシート」を使用。★参考図書：高山直 『「感じる力」の磨き方』(以上東洋経済新報社より出版)など。</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>必要出席率80%以上必須、評価は期末課題レポートと授業態度(30%以内)で総合的に評価する。</p> <p>A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定</p>		No.	日付	授業内容	
		1	4/10	オリエンテーション:授業の狙い	
		2	4/17	「SEQ」受検	
		3	4/24	コミュニケーションとEQの関わり～1年生の振り返り～	
		4	5/8	「SEQ」フィードバックと「EQ素養」の理解	
		5	5/15	個人フィードバックと自習①	
		6	5/22	個人フィードバックと自習②	
		7	5/29	「こんな「社会人」「職業人」になりたい」～EQ素養の課題の整理～	
		8	6/5	グループワーク「EQ素養」の開発計画をつくる	
		9	6/19	グループワーク「EQ開発カレンダー」をつくる	
		10	6/26	「働く現場」のコミュニケーションでは何が大切か	
		11	7/3	グループワーク「コミュニケーションスキルアップ」①	
		12	7/10	グループワーク「コミュニケーションスキルアップ」②	
		13	7/17	仕事の能力と毎日の心構え	
		14	7/24	13回までの振り返りと期末課題の準備	
15	7/31	期末課題レポート			
		評価試験			

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	ビジネス実務		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	金1	305
担当者	岩崎 純人		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>現代の社会や企業から求められるビジネス能力の養成をはかる。 就職活動に対応できるレベルの能力養成。 入社後すぐに活躍できるスキルの育成。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>ビジネス能力検定 ジョブパス 3級</p> <p>受験対象 全員</p> <p>実施日 後期</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>授業はさまざまなグループワークを導入した展開とするので、積極的な参加が不可欠となります。まずはクラスメイトとコミュニケーションを取ることに慣れ親しんでください。</p> <p>4. テキスト</p> <p>2019年度 B検 ビジネス能力検定 ジョブパス 3級 公式テキスト (日本能率協会マネジメントセンター)</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須 期末試験60%未満は再試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※再試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/12	専門学校生に求められる能力
		2	4/19	何のために働くの？
		3	4/26	仕事の基本となる8つの意識
		4	5/10	職場のコミュニケーション
		5	5/17	ビジネスマナーの基本 ～就業中のマナー～
		6	5/24	指示の受け方と報告・連絡・相談
		7	5/31	話し方の基本 感じの良い言葉遣い
		8	6/7	敬語の使い方 ①
		9	6/14	敬語の使い方 ②
		10	6/21	来客応対
		11	6/28	面談の基本マナー
		12	7/5	訪問の基本マナー ①
		13	7/12	訪問の基本マナー ②
		14	7/19	訪問の基本マナー ③
15	7/26	会社関係でのつき合い		
		評価 試験		

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	1D		
講義名	基本マナー I (ビジネスマナー)		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	水2	203	
担当者	小林 千恵		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講・演	1	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)			
<p>年齢や立場の異なる多くの人と共に働く職場にあって、気持ち良く効果的に仕事をするためには、お互いを思いやり、勘違いや誤解をなくし、意思疎通を図るコミュニケーションが必要です。相手を思いやる気持ちを形にして共通の意識で行うことが、「社内ルール」や「ビジネスマナー」です。</p> <p>本講義では基本的なビジネスマナーや接客マナーを学習し、体現できる力を身に付けていきます。</p>		No.	日付	授業内容	
		1	4/10	ビジネス・接客サービスの基本	
		2	4/17	サービススタッフの資質	
		3	4/24	サービススタッフに求められる行動	
		4	5/8	対人技能・接客知識	
		5	5/15	対人技能・接客の言葉づかい、敬語	
		6	5/22	対人技能・感じのよい話し方と聞き方	
		7	5/29	実務技能・電話応対	
		8	6/5	実務技能・電話応対	
		9	6/19	実務技能・受付のマナー(応対編)	
		10	6/26	実務技能・案内のマナーPART1	
		11	7/3	実務技能・案内のマナーPART2	
		12	7/10	実務技能・茶菓のマナー	
		13	7/17	一般知識・社会常識	
		14	7/24	専門知識・サービス業用語	
15	7/31	期末試験(理解度テスト)			
2. 目標検定・資格					
		受験対象			
実施日					
3. 学習上の留意点					
<p>ロールプレイングを実施します。</p> <p>グループワークも導入しますので積極的に自分の意見を発言するようにしてください。</p> <p>また、理解した内容はグループで確認し(グループ内全員が理解できるよう教えあう)コミュニケーションをとるようにしてください。</p> <p>また小テストを行いますので、都度復習を行いましょう。</p>					
4. テキスト					
<p>都度プリントを配布します。とじ込み用のファイルとノートを用意してください。</p>					
5. 成績評価の方法・基準					
<p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は追試</p> <p>A 総合評価 90点以上</p> <p>B 総合評価 70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価 60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価 60点未満→単位不認定</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p> <p>※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>					
		評価試験			

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	1D
講義名	パソコン基礎 I (Word)		回数	講義期間	曜日・時限
			15	前期	木3
担当者	坂口和江		実務経験	必修・選択	授業形態
			有	必修	演習
					単位数
					1
					備考

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)						
<p>業務においてExcelと並び多く活用されているのがWordです。 本講義では、公的資格試験であるコンピュータサービス技能評価試験(CS検定)のワープロ2級(実務レベル)合格を目指します。 パソコンの授業は、聴く力と練習量で確実に身に付きます。復習と入力練習を自己学習でも取組み、確実に合格を目指してください。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <table border="1"> <tr> <td>コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門2級</td> <td>受験対象</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全員</td> </tr> </table> <p>実施日 2019 /8/5~8/8</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>1回、1回の講義内容が濃密です。欠席した部分を改めて補う時間は取れません。健康に留意し、遅刻・欠席の無いように心がけてください。また、テキストとUSBは必ず持参してください。 なお、自宅での学習なども並行すると学習結果が大きく異なりますので、復習時間をできるだけ作ってください。</p> <p>4. テキスト</p> <p>九州文化出版 CS技能評価試験 受験対策練習問題集 ワープロ部門2級</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須、検定試験結果60%未満は、 追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※検定試験結果の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門2級	受験対象		全員	No.	日付	授業内容
		コンピュータサービス技能評価試験ワープロ部門2級	受験対象					
			全員					
		1	4/18	検定試験概要 ドリル:文字入力、文字編集、10分入力				
		2	4/25	10分入力 ドリル:書式設定、インデント、段組				
		3	5/9	10分入力 ドリル:作表				
		4	5/16	10分入力 ドリル:図形				
		5	5/23	10分入力 Wordの基本設定~課題2				
		6	5/30	10分入力 課題2				
		7	6/6	10分入力 課題2				
		8	6/13	10分入力 課題2				
		9	6/20	10分入力 課題3				
		10	6/27	10分入力 課題3				
		11	7/4	10分入力 課題3				
		12	7/11	検定対策・模擬問題①				
13	7/18	検定対策・模擬問題②						
14	7/25	検定対策・模擬問題③						
15	8/1	検定対策・模擬問題④						
		評価 試験						

科名	医薬サポート科 おもてなしビジネス 科	コース名	健康アドバイザーコース ホテルブライダルコース	学年・クラス	2健康・2ホテル		
講義名	POP II		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	木3	301	
担当者	村松 康子		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講・演	1	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)							
<p>販売に不可欠であるPOPの手書きの基礎を学びます。他店との差別化をはかりお客様の足を止めさせ、いかに購買に向かわせるか……その為のレタリング・レイアウト・キャッチフレーズ等を学び練習を重ねます。最近巷で流行りのブラックボードにも挑戦します。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <table border="1"> <tr> <td>POP広告クリエイター技能審査試験</td> <td>受験対象</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全員</td> </tr> </table> <p>実施日 2019/8/2(金)3・4時限目</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>レタリングや紙面上のレイアウトが重要になります。又、売ろうとする物や告知する事柄に関しての適切なコピーを考え短時間内にまとめ上げるスピードを身に着けることが大切です。</p> <p>4. テキスト</p> <p>販売促進テキスト</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須、出席・授業態度・提出物により評価します。</p>		POP広告クリエイター技能審査試験	受験対象		全員	No.	日付	授業内容	
		POP広告クリエイター技能審査試験	受験対象						
			全員						
		1	4/18	ポスター的POPの書き方のレクチャー 作品を仕上げる					
		2	4/25	レタリングの復習練習 プライスカード作成					
		3	5/9	装飾文字をマスターする					
		4	5/16	装飾文字使用ショーカード プライスカード作成					
		5	5/23	実際の店舗依頼のPOPの作成に挑戦 張出鑑賞					
		6	5/30	実際の店舗依頼のPOP作成 プライスカード・ショーカード					
		7	6/6	ブラックボード使用 作品作成 作品鑑賞(課題提供)					
		8	6/13	ブラックボード使用 作品作成 作品鑑賞(課題自由)					
		9	6/20	POP検定学科問題 答え合わせ レタリング練習					
		10	6/27	POP検定学科問題 答え合わせ 装飾文字のマスター					
		11	7/4	ショーカード・プライスカード作成					
		12	7/11	A3サイズポスター的POP作成					
13	7/18	POP検定学科問題 答え合わせ 実技不得意なものの強化							
14	7/25	POP検定実技模擬試験							
15	8/1	不得意なものの強化 試験に際しての持ち物等説明、質疑応答							
評価試験									

科名	医薬サポート科 おもてなしビジネス科	コース名	健康アドバイザー(1年) ホテルブライダル(2年)	学年・クラス	1健康・2ホテル
講義名	デジタルPOP	回数	講義期間	曜日・時限	教室
		15	前期	月3	201
担当者	西澤 英子	実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
		有	必修	講・演	1
					備考
					合同授業

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)					
POP広告の役割を理解し、デジタルで効率よく制作および修正可能なデジタルPOPの作成方法を学びます		No.	日付	授業内容			
		1	4/8	POP広告の役割			
		2	4/15	デザインの基礎知識 (レイアウト手法・色・フォント等)			
		3	4/22	Wordの操作ポイント(1)			
		4	5/13	Wordの操作ポイント(2)			
		2. 目標検定・資格		5	5/20	Wordの操作ポイント(3)	
		なし	受験対象				
		実施日		6	5/27	季節のPOP～春～	
		3. 学習上の留意点		7	6/3	季節のPOP～夏～	
		Microsoft Wordを使い、効率よく、訴求力のあるPOPを作っていきます。課題制作により理解度を測ります。		8	6/10	季節のPOP～秋～	
				9	6/17	季節のPOP～冬～	
				10	6/24	プライスカード(1)	
		4. テキスト		11	7/1	プライスカード(2)	
		資料配布 購入したファイルを利用してください		12	7/8	プライスカード(3)	
		5. 成績評価の方法・基準		13	7/22	課題制作(1)	
出席率80%以上必須、期末試験60%未満は追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※再試験については80%の点数をもって、C評価とする。		14	7/29	課題制作(2)			
		15	8/2(金)	課題提出(発表)			
		評価 試験					



科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	2D		
講義名	基礎ペン字		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	月1	305	
担当者	岡澤 由香		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講・演	1	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>情報化社会の今だからこそ、手書きの文字は皆さんの人間性や感情を率直に表し、心からの気持ちを臨場感のある情報として伝える優れたツールとなり得ます。</p> <p>この授業では、翌年に社会に出て、すぐに役立つ硬筆の基本的な書法を学び、ビジネス題材に於いての実践練習を重ねます。</p> <p>特に前期は美しい履歴書の作成に重きを置いた基礎重点の授業構成とし、社会人として是非知っておきたい書法のマナー等も合わせて学習します。</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/8	自分の字を知ろう！ 現在の実力診断&字のタイムカプセル作成
		2	4/15	ひらがなの単体① 美文字はまずひらがなから
		3	4/22	ひらがなの単体②
		4	5/13	ひらがなの応用
		5	5/20	カタカナ・数字のポイント
		6	5/27	漢字・部首と字形の整え方① 美文字には法則がある！
		7	6/3	漢字・部首と字形の整え方②
		8	6/10	漢字・部首と字形の整え方③
		9	6/17	漢字・部首と字形の整え方④
		10	6/24	漢字かな交じり文・漢数字
		11	7/1	履歴書対策① 美しい名前のポイント
		12	7/8	履歴書対策② 住所のポイント
		13	7/22	履歴書対策③ 頻出用語・実践練習
		14	7/29	履歴書対策④ 封筒・ハガキの表書き
15	8/2 (金)	前期試験		
2. 目標検定・資格				
無		受験対象		
実施日				
3. 学習上の留意点				
授業中だけでなく、日常生活の中でも、意欲的&積極的に、学習意識ある文字を書く姿勢を求めます。				
4. テキスト				
ボールペン字 実用練習帳 和田康子 成美堂出版				
5. 成績評価の方法・基準				
出席率80%以上 単元毎に小課題提出				
A 総合評価 90点以上				
B 総合評価 70点以上、90点未満				
C 総合評価 60点以上、70点未満				
D 総合評価 60点未満→単位不認定				
※毎時間の課題の評価に、意欲・理解力・授業態度(睡眠・おしゃべり・携帯)等を加味し、きちんと学習している学生が正しく評価されるよう、総合的に判断します。				
※追試については80%の点数をもって、C評価とします。				
評価試験				

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	スポーツ健康学		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			30	前期	金3・4	施設
担当者	島田 涉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>食べ物から摂取したエネルギーと運動により消費したエネルギーがバランスよく保たれていることが健康の為に良い状態です。しかし食べる量は変わらず、運動を行わないと摂取エネルギーが消費エネルギーを上回り、使われなかったエネルギーは脂肪としてからだに蓄えていきます。将来、このような説明ができるようになるためには、自ら経験することによって、より説得力を身につける。仲間と協調することで地域共創力につながるコミュニケーション力を身につける。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>受験対象</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>服装については、特に色・デザイン等の指定はないが、運動に適したジャージ類、トレーナー・スウェット類、Tシャツなどを着用すること。</p> <p>体育館や競技場は毎回変わります。</p> <p>4. テキスト</p> <p>参考にして欲しい本や文献に関しては、授業において紹介する</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須。 授業参加への積極性と協調性から評価を行う。</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/12	履修内容についてのガイダンス(HR教室)
		2	4/19	サンマリーンながの室内運動場 可能種目(テニス、フットサル)
		3	4/26	サンマリーンながの室内運動場 可能種目(テニス、フットサル)
		4	5/10	サンマリーンながの室内運動場 可能種目(テニス、フットサル)
		5	5/17	芹田体育館 (バレーボール、バスケ、バドミントン、卓球、)
		6	5/24	芹田体育館 (バレーボール、バスケ、バドミントン、卓球、)
		7	5/31	芹田体育館 (バレーボール、バスケ、バドミントン、卓球、)
		8	6/7	会場:未定
		9	6/14	会場:未定
		10	6/21	会場:未定
		11	6/28	会場:未定
		12	7/5	会場:未定
		13	7/12	会場:未定
		14	7/19	会場:未定
15	7/26	まとめ(HR教室)		
		評価 試験		

科名	医薬サポート科 おもてなしビジネス科	コース名	全コース	学年・クラス	2D		
講義名	アロマセラピー		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	火2	405	
担当者	飯田 泰子		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講・演	1	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>自分自身の健康には自分自身で責任を持ち、病気にならないための予防が重要視される現代において、体と心双方のケアに有用であるアロマセラピーの知識を身に付けることで自分のみならず、「人を思いやり、癒せる心」を育てること。また、アロマを通して、「自然環境」を大切に思う心を養う。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>JAAアロマコーディネーター アロマ検定1・2級</p> <p>受験対象 希望者</p> <p>実施日</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>実習をしてクラフトをつくります。が、理論の理解の上になつての実習です。講義をよく聴き、正しい使用方法を理解するように勤めてください。 想像している以上に内容は深いです。実習ばかりでなく講義にも積極的に参加しましょう。</p> <p>4. テキスト</p> <p>平青学園出版アロマコーディネーター講座</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/9	アロマセラピー概論 (西洋医学と自然療法・アロマの必要性) ★手浴
		2	4/16	精油の抽出法(抽出部位・抽出方法・特徴類以説) ★バスソルト 100g
		3	4/23	香りの歴史(アロマセラピーの歴史)
		4	5/7	精油のブレンド法(キャリアの種類とブレンド計算性) ★トリートメントオイル 50ml
		5	5/21	精油の体への影響(オイルトリートメント・オイルの種類) ★トリートメント実技
		6	5/28	精油の脳への影響(脳の構造と臭覚のしくみ) ★みつろうクリーム 20cc
		7	6/4	精油の心理作用(香りの精神作用とメンタルケア) ★エアーフレッシュナー 30ml
		8	6/11	精油の成分(精油の安全性・禁忌・成分)
		9	6/18	アロマの実践と法令(実務に関わる法令) ★ローション 50cc
		10	6/24	ソープカービング (直線の彫り方 ダリアⅠ)
		11	7/2	ソープカービング (直線の彫り方 ダリアⅡ)
		12	7/9	ソープカービング (ひまわり)
		13	7/16	睡眠の正体(睡眠障害とアロマによるケア) ★ボディーシャンプー 50cc
		14	7/23	免疫力と病気の予防(循環器のケアと免疫系の働き) ★マウスウォッシュ 20ml
15	7/30	理解力試験(ノート参照可)		
		評価 試験		

科名	医薬サポート科 おもてなしビジネス科	コース名	全コース	学年・クラス	2D	
講義名	ボディセラピー		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			30	前期	木1・2	4/18:405 222
担当者	丸田 好美		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・実	1
					備考	

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)				
<p>リラクゼーション分野でのフットリフレクソロジーの施術方法を習得すると共に、概論や解剖生理学の講義では、全般的な人体知識を得る。</p>	No.	日付	授業内容		
	1	4/18	オリエンテーション 概論講義 解剖生理学講義		
	2	4/25	フットリフレクソロジー実技練習		
	3	5/9	フットリフレクソロジー実技練習		
	4	5/16	フットリフレクソロジー実技練習		
	2. 目標検定・資格	5	5/23	フットリフレクソロジー実技練習	
	リフレクソロジスト(平青学園)	受験対象 全員	6	5/30	フットリフレクソロジー実技練習
	実施日	2019/8/1	7	6/6	フットリフレクソロジー実技練習
	3. 学習上の留意点	8	6/13	フットリフレクソロジー実技練習	
	<p>実習は相互実習の形態となり、生徒同士お互いに施術を行うことにより、人体への関心を高め、また、人に対する思いやりや優しさを持って授業に臨んでいただきたい。</p>	9	6/20	フットリフレクソロジー実技練習	
	4. テキスト	10	6/27	フットリフレクソロジー実技練習	
	ナチュレボディスクール発行 「ボディセラピー ベーシックレッスン」	11	7/4	ボランティアで代替	
	5. 成績評価の方法・基準	12	7/11	フットリフレクソロジー実技練習	
	<p>出席率80%必須            期末試験(認定試験)60%未満は、追試            A 総合評価 90点以上            B 総合評価 70点以上90点未満            C 総合評価 60点以上70点未満            D 総合評価 60点未満            * 期末試験の点数(60%)に、検定合格・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。            * 追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>	13	7/18	フットリフレクソロジー実技練習	
		14	7/25	フットリフレクソロジー実技練習	
	15	8/1	試験		
	評価 試験				

科名	医薬サポート科 おもてなしビジネス科	コース名	全コース	学年・クラス	2D
講義名	基礎学力講座 SPI対策	回数	期間	曜日・時限	教室
		30	1年	木4	301
担当者	鈴木詩郎	実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			必修	講・演	2
				備考	

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)		
昔から「読み書きそろばん」と言われるように、言葉や計算の基礎知識は人が社会生活を営む上で必要不可欠な能力であり、「生きる力」の基盤となるものです。この講座では基礎学力や社会常識の定着を図り、就職活動で力を最大限に発揮できるよう支援するとともに自ら考える力の育成を目指します。	授業日	コマ	計画
2. 目標検定・資格 なし 実施日 なし 3. 学習上の留意点 ①得意な領域を伸ばし、苦手な分野を克服する姿勢と意志を失わないこと。 ②テキストや問題演習帳を繰り返し解いて、各ジャンルの問題形式に慣れ、解答速度を上げる。③分からない問題は、中学、高校の教科書を見直したり、人に聞いたりして、基礎基本の確認を怠らないこと。	7月5日	1	講座オリエンテーション・一般常識
	7月12日	1	言語分野:同義語
	7月19日	1	言語分野:対義語
	7月26日	1	言語分野:二語の関係(包含関係・行為関係)
	9月13日	1	言語分野:二語の関係(原料関係・用途関係)
	9月20日	1	非言語分野:計算・数的問題(基礎確認)
	9月27日	1	非言語分野:計算・数的問題(距離・速度)
	10月4日	1	非言語分野:計算・数的問題(距離・時間)
	10月11日	1	非言語分野:計算・数的問題(塩水問題)
	10月18日	1	非言語分野:計算・数的問題(確率)
	10月25日	1	中間試験
	11月1日	1	言語分野:敬語基礎
	11月15日	1	言語分野:敬語応用
	11月22日	1	言語分野:敬語演習
	11月29日	1	非言語分野:計算・数的問題(仕事算)
	12月6日	1	非言語分野:計算・数的問題(流水算)
12月13日	1	非言語分野:計算・数的問題(分割算)	
1月10日	1	非言語分野:計算・数的問題(代金の精算)	
1月17日	1	問題演習・確認試験	
4. テキスト			
『最強のSPI攻略1000題』	4月18日	1	言語分野:ことわざ・慣用句・四字熟語
配布プリント集	4月25日	1	言語分野:語句の意味
5 成績評価の方法・基準	5月23日	1	非言語分野:論証問題(命題・判断推理)
①必要出席率90%以上 ②中間試験、期末試験 ③授業態度(学習意欲・小テストなど)以上三項目の評価点の合計により60点以上を認定。A・・90点以上、B・・70点以上、C・・60点以上、D・・60点未満。	5月30日	1	非言語分野:論証問題(集合)
	6月13日	1	非言語分
	6月20日	1	非言語分
	6月27日	1	総合試験

科名	医薬サポート	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	就職支援		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	火1	301
担当者	清水・柳澤泉・小林		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1
					備考	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
以下の順で就職への心がまえをつくり、就職活動の準備をしていきます。 ①就職活動の前準備 ・自分を知る ・就職活動に必要な基礎的能力を身に付ける ・基本的な職業理解 ・就職活動の概要を理解する ②職業・企業に関する情報を集める ③情報を分析する ④職業を決定し会社を決定する ⑤内定を勝ち取る		No.	日付	授業内容
2. 目標検定・資格		1	4/9	オリエンテーション EQと人間力
なし	受験対象	2	4/16	※2限→1限に変更、全科合同 職業観・就業観1(就職支援室)
実施日		3	4/23	※2限→1限に変更、全科合同 求められる人材とは
3. 学習上の留意点		4	5/7	※2限→1限に変更、全科合同 職業理解1(事務)
連続した授業ですので、100%の出席を目指してください		5	5/21	※2限→1限に変更、全科合同 職業理解3(営業・販売)
4. テキスト		6	5/28	※2限→1限に変更、全科合同 職業理解4(IT関連))
就職ノートファイル 必要に応じてプリントを配布		7	6/4	職業観・就業観2(OHBY-CARD・グループワーク)
5. 成績評価の方法・基準		8	6/11	職業理解まとめ(レポート)
必要出席率80%以上必須、評価は課題レポートと授業態度(40%以内)で総合的に評価する。 ※やむを得ず欠席した場合、授業内容に応じた課題を提出		9	6/18	自己分析1/VPI職業興味検査
A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定		10	6/25	自己分析2/キャリアインサイト
		11	7/2	自己分析3/モチベーションアップ1
		12	7/9	※2限→1限に変更、全科合同 就活セミナー(就職支援室)
		13	7/16	県内企業・県内業界の研究
		14	7/23	企業研究
		15	7/30	※2限→1限に変更、全科合同 新聞の読み方(信毎)
		評価試験		

科名	医薬サポート	コース名	全コース	学年・クラス	1D		
講義名	医療保障Ⅰ		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	水3	505	
担当者	島田 涉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講義	1	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>日本では国民の誰もが必要な時に適切な医療を受ける権利を保障するために様々な制度が創設されています。</p> <p>特に、医療機関(調剤薬局を含む)で取り扱う機会の多い医療保険制度を重点に、「健康保険制度」「後期高齢者医療制度」、「公費負担医療制度」、「労働者災害補償保険制度」を学び、医療機関の受付に必要な知識を学びます。</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/10	民法と保険診療の関係 ①医療保険制度ってなんだろう？
		2	4/17	②医療保険にはどんな種類がある？
		3	4/24	保険料の負担 ③医療保険にはどんな種類がある？
		4	5/8	年齢・所得で違う給付率と患者負担 償還払い
		5	5/15	④医療保険が使えない場所ってどんなとき？ 保険外併用療養費
		6	5/22	⑤公費負担医療制度
		7	5/29	⑥労働者災害補償保険制度
		8	6/5	⑦高額療養費制度
		9	6/19	日本の医療費 医療費上昇理由と対策および今後の課題
		10	6/26	私たちの住む町の医療機関はどのように配置され、それぞれがどのような関りをもって いるのか担当を決めまとめる。(内科、外科、
		11	7/3	"
		12	7/10	"
		13	7/17	発表
		14	7/24	⑧医療保険制度まとめ 社会保険について 日本の医療保険 医療 保険のしくみ
15	7/31	期末試験		
2. 目標検定・資格				
関連の検定は、「医療事務」 「調剤事務」		受験対象 全員		
実施日				
3. 学習上の留意点				
医療関連機関で働くものとして知らなければいけない知識です。新しい名称が多く、覚えることは大変ですが、現場ですぐ必要な知識です。				
積極的に授業に参加し知識を深め、人に伝えられるようにして下さい。				
4. テキスト				
改訂 医療概論(建帛社) プリント				
5. 成績評価の方法・基準				
出席率80%以上必須、期末試験60%未満 は、追試				
A 総合評価 90点以上				
B 総合評価 70点以上、90点未満				
C 総合評価 60点以上、70点未満				
D 総合評価 60点未満				
※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。				
※追試については80%の点数をもって、C評価とする				
評価試験				

科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	1D		
講義名	医療概論		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	水4	505	
担当者	島田 涉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講義	1	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>1.目まぐるしく変化する医療の中で満足した職業意識を持ち続ける為に、自己啓発の心掛けと、幅広い医療・医学の知識を柔軟に受け入れ理解する必要がある。早期に職業観を持つ事を目的とする。</p> <p>2.病める人を単に病気だけでなく総合的に理解できるような医療従事者を目指すために、暖かく相手の身になって考える心が必要であることを理解し、病める人にとっての必要な医療とは何かについて学ぶ。</p> <p>3.医療施設・医療を支えている職種を知る。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>医療秘書検定(医療事務コース) 受験対象 登録販売者(薬剤販売コース) 全員 実施日 秘書11/9(土)登販 2020. 9</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>授業は意欲的に参加し、日頃から医療・医学に関わる話題などはチェックする。別途配布する資料は正しく整理して必ず保管しておくこと。</p> <p>4. テキスト</p> <p>改訂 医療概論(建帛社)プリント</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/10	医学用語 1~4 医学の歴史 紀元前の医療 陰陽五行説 ガレノス
		2	4/17	医学用語 5~9 医学の歴史 ヴェサリウス インフォームドコンセント、セカンドオピニオン
		3	4/24	医学用語 10~13 医学の歴史 パレ 山脇東洋 杉田玄白 ハンター ジェンナー
		4	5/8	医学用語 14~16 医学の歴史 華岡青洲 麻酔の歴史 コミュニケーション について 死亡順位
		5	5/15	医学用語 17~20 医学の歴史 フランツ・シーボルト
		6	5/22	医学用語 21~24 病気の定義 血行障害による病変 進行性の変化 退行性の変化 腫瘍の良性と悪性の区別
		7	5/29	医学用語 25~28 医学の歴史 コッホ、北里柴三郎、レントゲン、アスピリン、 ラントシュタイナー 病気の原因
		8	6/5	医学用語 29~32 診察の種類 さまざまな検査 原因療法と対症療法 薬物療法 麻酔 リハビリテーションの種類 予防医学
		9	6/19	医学用語 33~36 プライマリケア ターミナルケア 緩和ケア 末期患者の問題とニーズ 緩和ケアと尊厳
		10	6/26	医学用語 37~40 医学の歴史(野口英世) 医療法と医療提供施設 病院と診療所
		11	7/3	医学用語 41~44 病院の開設者別分類 特定機能病院 地域医療支援病院 広告の 制限 医療法人 診療録の保管
		12	7/10	医学用語 45~50 医薬品の授業を実施
		13	7/17	医薬品の授業を実施
		14	7/24	医薬品の授業を実施、および、まとめ
15	7/31	期末試験		
		評価 試験		



科名	医薬サポート	コース名	全コース	学年・クラス	1D	
講義名	基礎医学 I		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			30	前期	月4、火3	505
担当者	島田 涉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講義	2

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>医療関係従事者、医療界に関与する人たちは、基本的な解剖と、生理(身体の構造と働き)について十分な知識をもっていることが求められるため、解剖生理学に関連補足を取り入れ知識を深める。</p> <p>2. 目標検定・資格</p> <p>医療秘書検定(メディカルサポートコース) 受験対象 登録販売者(両コース) 全員</p> <p>実施日 秘書11/9(土)登販 2020. 9</p> <p>3. 学習上の留意点</p> <p>授業は意欲的に参加し、解剖生理学部門は、ノートに取りまとめることが大切です。別途配布する資料は正しく整理して必ず保管しておくこと。 日常生活においても身体の各部分の名称や働きを意識する。</p> <p>4. テキスト</p> <p>改訂 基礎医学(建帛社)</p> <p>5. 成績評価の方法・基準</p> <p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満→単位不認定 ※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/8	・細胞・染色体
		2	4/9	・組織・神経系の区分・脳脊髄膜・中枢神経の全体像
		3	4/15	・大脳機能局在・脳神経・脊髄神経・自律神経の働き
		4	4/16	・眼球の構造 ・目の主な病気
		5	4/22	・耳 ・これまでの復習
		6	4/23	・心臓(構造、働き、刺激伝導系、循環)
		7	5/7	・心拍数と血圧・心臓の疾患・動脈と静脈
		8	5/13	・毛細血管・リンパ系 ・循環器テスト
		9	5/20	・循環器テスト解説・血液の組成・血液成分・血漿
		10	5/21	・血液(血漿、赤血球、白血球①)
		11	5/27	・白血球②・血小板・凝固系と線溶系
		12	5/28	・血液の凝固・血液型
		13	6/3	・貧血について ・血液テスト
		14	6/4	・血液テスト解説 ・骨①(全身骨格など)
		15	6/10	・骨②(頭部の骨、椎骨、骨の疾患、関節)
		16	6/11	・筋系
		17	6/17	・腎臓・尿路の形態と機能
		18	6/18	・腎・泌尿器系の病態 ・腎臓テスト
		19	6/24	・内分泌系(フィードバック機構、視床下部、下垂体、甲状腺)
		20	6/25	・内分泌系(副甲状腺、膵臓、副腎、卵巣、精巣)
		21	7/1	・内分泌系の疾患 ・内分泌テスト
		22	7/2	・呼吸器系①(解剖、構造と機能、肺炎)
		23	7/8	・呼吸器系②(肺癌、気胸) ・呼吸器系テスト
		24	7/9	・消化器系①(機械的消化と科学的消化)
		25	7/16	・消化器系②(唾液腺、肝臓、膵臓)
		26	7/22	・口腔内の疾患、食道の疾患、胃の疾患、腸の疾患
		27	7/23	・肝炎、肝硬変、肝がん、脂肪肝、胆石症、膵炎、膵臓がん
		28	7/29	・消化器スケッチ
		29	7/30	・生殖器系 ・まとめ
30	8/2(金)	・期末試験		
		評価 試験		

科名	医薬サポート	コース名	健康アドバイザー	学年・クラス	1健康		
講義名	調剤事務Ⅰ		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	水3	302	
担当者	滝澤 幸子		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講・演	1	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>保険医療機関の医師の処方に基づいて行われる保険調剤の仕組みを学び、保険調剤薬局での仕事を理解しましょう。          &lt;調剤薬局での業務&gt;          ①保険証の確認          ②処方箋の受け取り          ③処方箋内容のコンピュータ入力          ④薬剤計算          ⑤医療保険制度、調剤報酬点数表の理解</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/10	医療保険制度
		2	4/17	医療保険制度
		3	4/24	保険調剤しくみ
		4	5/8	調剤報酬の算定①処方箋の見方
		5	5/9	調剤報酬の算定②調剤報酬の算定方法
		6	5/15	調剤基本料
		7	5/29	調剤料
		8	6/5	調剤料
		9	6/19	薬剤料
		10	6/26	薬剤料
		11	7/3	練習問題
		12	7/10	レセプト作成
		13	7/17	レセプト作成
		14	7/24	レセプト作成
15	7/31	期末試験		
2. 目標検定・資格				
調剤事務認定実務者試験	受験対象			
	全員			
実施日		2020年1月末予定		
3. 学習上の留意点				
レセプトの記入方法や会計業務を学び、登録販売者資格に併せて調剤事務管理士のダブル取得で、薬局、医薬品販売業の両方の業務ができるようにしましょう。				
4. テキスト				
調剤報酬事務&レセプト作例集 トレーニングブック サポートブック レセプトセット				
5. 成績評価の方法・基準				
出席率80%以上必須 期末試験60%未満は追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定合格・授業態度(40%)などを考慮し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもってC評価とする				

科名	医薬サポート	コース名	全コース	学年・クラス	1D		
講義名	医薬品 I		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			30	前期	火2、水1	302	
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講義	2	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)					
<p>登録販売者とは、ドラッグストアや薬局などで、かぜ薬や鎮痛剤などの副作用のリスクが比較的低い一般用医薬品の販売ができる医薬品販売専門の医療系国家資格です。この公的な資格をクラス全員で合格を目指します。</p>		No.	日付	授業内容			
		1	4/9	卒業生の進路状況、アスピリン、医薬品の本質			
		2	4/10	サリチル酸系解熱鎮痛成分、医薬品のリスク評価			
		3	4/16	アセトアミノフェン、健康食品、副作用			
		4	4/17	イブプロフェン、認識不足・目的以外での不適正な使用、相互作用、飲み合わせ			
		5	4/23	イソプロピルアンチピリン、小児への配慮			
		6	4/24	リゾチーム、小児・高齢者・妊婦・授乳婦への配慮、医療機関で治療を受けている人等への配慮			
		7	5/7	セミアルカリプロテイナーゼ/プロメライン、プラセボ効果、医薬品の品質、適切な医薬品選択と受診勧奨			
		8	5/8	トラネキサム酸、薬害(サリトマイド、スモン、CJD)			
		9	5/15	グリチルリチン酸、カンゾウ、薬害(HIV)			
2. 目標検定・資格		10	5/21	第一章まとめ 第一章テスト 全身作用と局所作用			
登録販売者	受験対象	11	5/22	抗ヒスタミン成分 薬の生体内運命①			
	全員	12	5/28	抗コリン成分 薬の生体内運命②			
実施日	2020年/9月	13	5/29	アドレナリン作動成分 薬の体内での働き			
3. 学習上の留意点		14	6/4	抗ヒスタミン成分、抗コリン成分、アドレナリン作動成分のまとめ 剤型ごとの違い、適切な使用方法			
<p>医薬品の知識、特に薬効などは正確に覚えるためにも反復学習は必ず実施して下さい。</p> <p>自身の専門性のやりがいや、楽しさを理解し把握する時期ですので、受講にあたっては、積極的な参加を希望します。</p> <p>指定の教科書は授業の際、必ず持参すること。</p>		15	6/5	麻薬性・非麻薬性鎮咳成分 ショック 重篤な皮膚粘膜肝機能障害			
		16	6/11	気管支拡張成分(アドレナリン作動成分) 偽アルドステロン症			
		17	6/18	気管支拡張成分(キサンチン系成分) 精神神経障害 無菌性髄膜炎 消化性潰瘍 イレウス様症状 間質性肺炎			
		18	6/19	喘息、鬱血性心不全、不整脈、排尿困難、眼圧上昇、散瞳、接触皮膚炎、光線過敏症 薬疹			
		19	6/25	去痰成分 問題集(副作用) 脳			
		20	6/26	カフェイン 自律神経系			
		21	7/2	眼 鼻 耳			
		22	7/3	皮膚 骨 関節			
		23	7/9	循環器系			
		24	7/10	ジフェンヒドラミン塩酸塩 泌尿器系 呼吸器系			
5. 成績評価の方法・基準		25	7/16	ブロムワレリル尿素 アリルイソプロピルアセチル尿素 人体の構造と働き 口腔 舌 唾液腺 咽頭 食道			
<p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試</p> <p>A 総合評価 90点以上</p> <p>B 総合評価 70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価 60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価 60点未満→単位不認定</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。</p> <p>※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		26	7/17	胃 小腸 膵臓			
		27	7/23	胆嚢 肝臓 大腸 肛門			
		28	7/24	第2章 まとめ			
		29	7/30	期末まとめ			
		30	7/31	期末試験			
		評価	試験				

科名	医薬サポート科	コース名	全コース			2D
講義名	登録販売者総論 I		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			45	前期	月2、火1、水2	302
担当者	島田 渉		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講義	4

1. 講義の概要と目的	6. 講義計画(シラバス)
<p>医薬品についての基礎的・専門的知識を理解し、医薬品販売知識を深める。          医薬品、薬の働き、各制度、健康などについて説明のできる本物の登録販売者を目指します。          登録販売者試験、悔いが残らないよう支援するのがこの講義の目的です。</p>	<p>第3章 ・主な医薬品とその作用(1年次からの続き)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 婦人薬</li> <li>2 内服アレルギー用薬(鼻炎用内服薬を含む)</li> <li>3 鼻に用いる薬</li> <li>4 眼科用薬</li> <li>5 皮膚に用いる薬</li> <li>6 歯や口中に用いる薬</li> <li>7 禁煙補助剤</li> <li>8 滋養強壮保健薬</li> <li>9 漢方処方製剤・生薬製剤</li> <li>10 公衆衛生用薬</li> <li>11 一般用検査薬</li> </ol> <p>第4章 ・薬事関係法規・制度</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 薬事法の目的</li> <li>2 医薬品の分類・取扱い</li> <li>3 医薬品の販売業の許可</li> <li>4 医薬品販売に関する法令遵守</li> </ol> <p>第5章 ・医薬品の適正使用・安全対策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 医薬品の適正使用情報</li> <li>2 医薬品の安全対策</li> <li>3 医薬品の副作用等による健康被害の救済</li> <li>4 一般用医薬品に関する主な安全対策</li> <li>5 医薬品の適正使用のための啓発活動</li> </ol> <p>登録販売者試験対策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人体の解剖と機能</li> <li>2 薬の働くしくみと副作用</li> <li>3 医薬品の知識</li> </ol> <p>4/8(月)ウエルシア薬局(業界の動向と会社説明会)          4/17(水) マツモトキヨシ会社説明会</p> <p>* 5/14(火) レクリエーション          * 6/12(水) レクリエーション</p>
2. 目標検定・資格	
登録販売者	受験対象 全員
実施日 2019.9月	
3. 学習上の留意点	
<p>医薬品の知識、出題頻度の高い項目やポイントは、正確に覚えるためにも反復学習は必ず実施して下さい。          問題集は常日頃が実施し、完全にマスターするようにして下さい。          別途配布する資料は正しく整理して必ず保管しておくこと。</p>	
4. テキスト	
登録販売者研修テキスト(薬事日報社ド-モ) 過去問題集 プリント	
5. 成績評価の方法・基準	
<p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は追試</p> <p>A 総合評価 90点以上          B 総合評価 70点以上、90点未満          C 総合評価 60点以上、70点未満          D 総合評価 60点未満→単位不認定</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。          ※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>	

科名	医薬サポート科	コース名	全コース			学年・クラス	2D
講義名	化粧品アドバイザー I		回数	講義期間	曜日・時限		教室
			15	前期	金 1		302
担当者	滝澤 幸子		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
				必修	講・演	15	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
<p>化粧品の良し悪しを評価するのではなく成分や働きを理解し、目的にあった使い方ができるようになることを目指します。間違いがちな化粧品や美容の知識のほか、皮膚の構造や肌悩みに対する化粧品の選び方などを習得していきます。</p> <p>医療機関やドラッグストアなど、就職後に活躍の幅を広げられるほか、自分自身の役立つ知識にもつながります。</p>		No.	日付	授業内容
		1	4/12	間違いがちな美容知識①
		2	4/19	間違いがちな美容知識②
		3	4/26	皮膚の構造
		4	5/10	皮膚のしくみと働き
		5	5/17	皮膚の機能
		6	5/24	肌の手入れと正しい知識①
		7	5/31	肌の手入れと正しい知識②
		8	6/7	メイクアップ①
		9	6/14	メイクアップ②
		10	6/21	肌悩みに応じた対処①
		11	6/28	肌悩みに応じた対処②
		12	7/5	肌の手入れと正しい知識①
		13	7/12	肌の手入れと正しい知識②
		14	7/19	日本化粧品検定3級受験
15	7/26	期末試験		
2. 目標検定・資格				
日本化粧品検定3級 (11月に2級受験予定)	受験対象			
	全員			
実施日	2019/11/24			
3. 学習上の留意点				
<p>3級・自分の知識を正す 2級・肌に適した化粧品の選び方を習得 1級・化粧品の専門家を目指す 授業では2級の取得となりますが、希望があれば1級「コスメコンシェルジュ(あらゆる肌悩みに対し最適な化粧品を選び出せるプロ)」の受験にもつなげることができます。</p>				
4. テキスト				
日本化粧品検定2・3級テキスト 日本化粧品検定2・3級問題集				
5. 成績評価の方法・基準				
<p>出席率80%以上必須 期末試験60%未満は追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※期末試験の点数(60%)に、検定可否・授業態度(40%)などを考慮し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもってC評価とする</p>				

科名	医薬サポート科	コース名	健康アドバイザーコース	学年・クラス	1健康
講義名	販売理論 I	回数	講義期間	曜日・時限	教室
		30	前期	月2、木1	305
担当者	坂口 和江	実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
		有	必修	講義	2
				備考	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)					
<p>近年、流通業界を取り巻く環境は大きく進化している。そのため、販売技術の向上や顧客ニーズを読み取る力は欠かせないものとなっている。</p> <p>流通業界では唯一の公的資格と言われている日本商工会議所主催”販売士3級”の資格取得の学習を通して、即戦力として必要なビジネスに直結した知識・技術・能力を身につける。</p>		No.	日付	授業内容			
		1	4/8	販売士検定試験概要1.小売業の類型1章1節			
			4/15	1.小売業の類型 1章 2節～3節			
		2	4/18	1.小売業の類型 1章 4節 1章まとめ			
			4/22	1.小売業の類型 2章 1節			
		3	4/25	1.小売業の類型 2章 2節			
			5/9	1.小売業の類型 2章 3節 2章まとめ			
		4	5/13	1.小売業の類型 3章 1節～2節			
			5/16	1.小売業の類型 3章 3節～5節			
		5	5/20	1.小売業の類型 3章 6節～9節			
			5/23	1.小売業の類型 3章 まとめ			
		6	5/27	1.小売業の類型 4章 1節～2節 4章まとめ			
			5/30	1.小売業の類型 まとめ 小テスト			
		2. 目標検定・資格		7	6/3	2.マーチャダイジング 1章 1節～3節	
		日本商工会議所・販売士3級	受験対象		6/6	2.マーチャダイジング 1章 まとめ	
			全員	8	6/10	2.マーチャダイジング 2章 1節～2節	
実施日	2020/2/19	9	6/13	2.マーチャダイジング 2章 まとめ			
3. 学習上の留意点		10	6/17	2.マーチャダイジング 3章 1節～2節			
<p>販売士検定試験は①全科目の平均が70点以上、②1科目ごとの得点が50点以上という2点を満たすことが合格基準となっているため、苦手科目をつくらず、まんべんなく学習すること。</p>		11	6/20	2.マーチャダイジング 3章 まとめ			
		12	6/24	2.マーチャダイジング 4章 1節～3節			
		13	6/27	2.マーチャダイジング 4章 4節～5節			
		14	7/1	2.マーチャダイジング 4章 まとめ			
		15	7/4	2.マーチャダイジング 5章 1節～2節			
		16	7/8	2.マーチャダイジング 5章 3節			
		17	7/11	2.マーチャダイジング 5章 まとめ			
		18	7/18	2.マーチャダイジング 6章～7章			
		19	7/22	2.マーチャダイジング 6.7章 まとめ			
		20	7/25	2.マーチャダイジング まとめ			
4. テキスト		21	7/29	2.マーチャダイジング 小テスト			
日本商工会議所販売士養成講座3級テキスト		22	8/1	まとめ			
5. 成績評価の方法・基準		23	8/2(金)	2時限			
<p>・出席率80%以上、必須。</p> <p>・期末試験60%未満は追試。</p> <p>・期末試験の点数(60%)に授業態度、単元小テストなど(40%)を加味し評価する。</p> <p>A総合評価 90点以上 B総合評価 70点以上、90点未満 C総合評価 60点以上、70点未満 D総合評価 60点未満 → 単位不認定</p>		24		期末試験			
		25		評価試験			

科名	医薬サポート科	コース名	健康アドバイザー	学年・クラス	1健康		
講義名	販売計数基礎		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	金2	302	
担当者	福澤 義人		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講・演	1	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)			
<p>流通・小売業(医薬品販売業を含む)における売上高・値入高・荒利益高などの基礎的計数を理解し、計数能力を高める。 計数を通じて流通・小売業で働く能力を高めるとともに、ビジネス界で活躍できる計数能力を身に付ける。</p> <p>2. 目標検定・資格 公開経営指導協会 小売業計数能力検定初級 受験対象 全員</p> <p>実施日 2019/8/5~8/8</p> <p>3. 学習上の留意点 計数能力を高めるためには、数字に慣れることである。そのためには計算方法を理解し、反復練習する必要がある。 週1回の講座ですので、小テストを繰返し、計数能力検定の合格を目指します。 流通業に必要な最も基礎的な能力を身に付けるため、受講にあたっては、積極的な参加を希望します。</p> <p>4. テキスト 公開経営指導協会 小売業計数能力検定初級</p> <p>5. 成績評価の方法・基準 出席率80%以上必須、課題評価60%未満は、追試 A 総合評価 90点以上 B 総合評価 70点以上、90点未満 C 総合評価 60点以上、70点未満 D 総合評価 60点未満 ※課題評価の点数(60%)に、検定合否・授業態度(40%)などを加味し、総合的に判断する。 ※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>		No.	日付	授業内容	
		1	4/12	利益構造と荒利益・計数と販売	
		2	4/19	売上高の分解	
		3	4/26	売上高と売価の関係	
		4	5/10	値入計算	
		5	5/17	ロスと見込んだ値入計算	
		6	5/24	荒利益の計算	
		7	5/31	販売ロスの改善	
		8	6/7	歩留り計算	
		9	6/14	歩留りと荒利益の関係	
		10	6/21	売上高構成比の計算・予算達成率の計算	
		11	6/28	実績管理	
		12	7/5	売買差益管理の計算	
		13	7/12	総合演習①	
		14	7/19	総合演習②	
15	7/26	総合演習③			
		評価 試験			

科名	医薬サポート科	コース名	健康アドバイザー	学年・クラス	1健康	
講義名	ラッピング		回数	講義期間	曜日・時限	教室
			15	前期	木2	302
担当者	荒井 明子		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数
			有	必修	講・演	1

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)		
日本のしきたりを踏まえ、お客様のご要望に合った包みができるよう知識とラッピング技術を身につける。また贈り物を通して温かいおもてなしの心を学ぶ。		No.	日付	授業内容
		1	4/18	ラッピングとは 道具の使い方
2. 目標検定・資格 商業ラッピング3級 商業ラッピング協会主催		2	4/25	合わせ包み1(標準箱)
		3	5/9	合わせ包み2(薄型箱)
3. 学習上の留意点 3級検定取得に向けて、テキストに沿って基本の包み方、リボンの掛け方、熨斗紙の掛け方を実践していきます。それぞれの品物に合った包みが正確にできるよう、わからないことがないようにしっかり時間内に消化して何度も練習しましょう。		4	5/16	合わせ包み3(立方体・人形箱)
		5	5/23	斜め包み1(標準箱)
4. テキスト 商業ラッピング3級		6	5/30	斜め包み2(薄型箱)
		7	6/6	びん包み1(風呂敷包み応用)
5. 成績評価の方法・基準 授業態度・出席率・検定結果を加味し総合的に判断する		8	6/13	びん包み2(斜め包み応用)
		9	6/20	リボン1(縦・横一文字)
5. 成績評価の方法・基準 授業態度・出席率・検定結果を加味し総合的に判断する		10	6/27	リボン2(十字がけ・斜め掛け)
		11	7/4	リボン3(シールリボン・裏表のあるリボン・ボンボンボウ)
5. 成績評価の方法・基準 授業態度・出席率・検定結果を加味し総合的に判断する		12	7/11	贈る文化
		13	7/18	しきたり1
5. 成績評価の方法・基準 授業態度・出席率・検定結果を加味し総合的に判断する		14	7/25	しきたり2
		15	8/1	検定対応
		評価試験		



科名	医薬サポート科	コース名	全コース	学年・クラス	2D		
講義名	サービス介助基礎		回数	講義期間	曜日・時限	教室	
			15	前期	金2	305	
担当者	坂口 和江		実務経験	必修・選択	授業形態	単位数	備考
			有	必修	講・演	1	

1. 講義の概要と目的		6. 講義計画(シラバス)			
<p>ホスピタリティの心をどのように実践すればよいのかを”ユニバーサルサービス基本テキスト”により学びます。</p> <p>”ユニバーサルサービス”を学ぶことは、公共機関、交通機関、商業店舗や観光施設などでのあらゆる接客・接遇の場面にとどまらず、日々の生活や地域の活性化にも役立ちます。</p> <p>講義の中では、必要とされる知識や気づき、意識を学び、実際に体験すること(疑似体験)を通じて知識を確実なものにしていきます。</p>		No.	日付	授業内容	
		1	4/12	Part1 1章～2章. ユニバーサルサービスの基本	
		2	4/19	Part1 3章 サービスにおける接遇 ※ユニバーサルデザインとは	
		3	4/26	Part2 視覚に不自由を感じる方へのサービス	
		4	5/10	【疑似体験】 視覚障がい疑似体験、接客体験	
		5	5/17	身体障害者補助犬法を知る (ビデオ鑑賞) 小レポート(1-2単元)	
		6	5/24	Part3 聴覚に不自由を感じる方へのサービス	
		7	5/31	Part4 肢体に不自由を感じる方へのサービス	
		8	6/7	【研修】 あいサポート研修	
		9	6/14	【疑似体験】 車椅子体験、接客体験 小レポート(3-4単元)	
		10	6/21	Part5 高齢者・認知症がある高齢者へのサービス	
		11	6/28	【疑似体験】 高齢者体験	
		12	7/5	Part6 お客様に応じたサービス	
		13	7/12	【疑似体験】 妊婦体験	
		14	7/19	小レポート(5-6単元)	
15	7/26	サービス介助基礎検定試験			
5. 成績評価の方法・基準		評価	試験		
<p>出席率80%以上必須、期末試験60%未満は、追試</p> <p>A 総合評価 90点以上</p> <p>B 総合評価 70点以上、90点未満</p> <p>C 総合評価 60点以上、70点未満</p> <p>D 総合評価 60点未満→単位不認定</p> <p>※期末試験の点数(60%)に、授業態度・小レポートなど(40%)を加味し、総合的に判断する。</p> <p>※追試については80%の点数をもって、C評価とする</p>					